

特別会計の状況

特別会計名	収入額	支出額
国民健康保険	114億5,726万2千円	111億7,488万8千円
後期高齢者医療	11億3,398万円	11億3,168万円
介護保険	70億5,198万1千円	69億4,919万4千円
介護サービス	4,080万5千円	2,441万円
公園墓地	6,466万1千円	800万2千円
公共用地先行取得	1億6,978万5千円	1億6,978万5千円
合 計	199億1,847万4千円	194億5,795万9千円

財産の状況

財産の種類	平成28年度末現在高
土地	1,278,216㎡
建物	293,937㎡
基金(15種類合計)	56億604万7千円

◆おもな基金の種類・現在高

- ・財政調整基金…………… 23億1,366万4千円
- ・減債基金…………… 10億3,853万9千円
- ・福祉基金…………… 5億6,592万2千円
- ・庁舎建設基金…………… 4億4万2千円

市債(借入金)の残高

◆平成28年度末現在の残高

会 計	平成28年度末現在高
一般会計	398億1,408万6千円
特別会計	1億1,703万6千円
合 計	399億3,112万2千円

◆市債残高の推移

年度	一般会計	特別会計	公営企業会計
平成24年度末	370億円	4億円	206億円
平成25年度末	410億円	3億円	198億円
平成26年度末	401億円	2億円	192億円
平成27年度末	389億円	2億円	182億円
平成28年度末	398億円	1億円	176億円

市の財政 健全化判断比率と資金不足比率

◆健全化判断比率 地方公共団体等の財政の状況を、数値でわかりやすく把握するために算出する指標です。数値が「早期健全化基準」を越えると、財政健全化への努力がより厳しく求められることになります。

▶大和郡山市の平成28年度決算にもとづく各指標は、すべての数値が「早期健全化基準」をクリアしています。

※「△」=マイナスを表します		大和郡山市 平成28年度	(参考) 早期 健全化基準
実質赤字比率	一般会計等の赤字の比率	黒字のため 数値なし (昨年と変わらず)	12.57%
連結実質赤字比率	一般会計と特別会計・企業会計全ての会計の赤字の比率		17.57%
実質公債費比率	市債(借金)の単年度返済額の負担の重さを表す指標	12.6% (前年度比+1.0%)	25.0%
将来負担比率	市債の残高や公社・第3セクターの債務など、負担しなければならぬ負債の大きさを表す指標	61.7% (前年度比△9.8%)	350.0%

◆資金不足比率 健全化判断比率と同様、公営企業の赤字の状況を表す指標。本市では、「水道事業会計」と「下水道事業会計」の2事業が対象。

▶2事業とも、平成28年度決算額では資金不足額がないため、「経営健全化基準」をクリアしています。



平成28年度
こんなところにお金を使いました。

安全・快適な暮らし

自治会防犯カメラ設置補助事業	706万3千円
郡山城天守台展望施設整備事業	1億6,159万2千円
市道三の丸線交通広場改良事業	1億448万8千円
都市計画道路城廻り線街路事業	6,469万2千円
市内コンビニエンスストアAED設置事業	280万円
空家対策事業	265万3千円
公営住宅建設事業	2億640万円

子育て・教育

子ども医療費助成給付事業 (小中、入・通院分)	4,025万7千円
(仮称)矢田認定こども園建設事業	2億4,122万4千円
学校施設防犯カメラ設置事業	950万4千円
学校図書室司書配置事業	91万1千円
幼稚園耐震補強改修事業	9億5,158万8千円

協働のまち

転入・定住・家族の絆応援助成事業	2,730万円
大規模商業施設期日前投票所設置事業	468万9千円
火葬場予約システム構築事業	360万8千円
コミュニティバス運行事業	3,344万1千円

健康・福祉・生きがいづくり

臨時福祉給付金及び年金生活者等支援 臨時福祉給付金給付事業	3億3,017万円
精神障害者医療費助成事業	798万円
中央公民館耐震改修事業	3億576万2千円

産業・環境

清掃センター長寿命化事業	25億5,102万2千円
衛生センター長寿命化事業	2億4,813万円
町家物語館(旧川本家住宅)耐震補強事業	5,104万1千円
工場等設置奨励支援事業	5,424万8千円